

高島公民館だより

2026年 2月号 2026.1.27 (文責: 高木)

高島公民館
(アイリッシュパーク内)
〒520-1121
高島市勝野670
TEL 36-0219
FAX 36-1909
t-kominkan@city.takashima.lg.jp

新年がスタートして早一か月、1月下旬から厳しい寒波の襲来で積雪量が増えてきました。厳寒期に備えて寒さ対策とともにインフルエンザの流行にもご留意いただき、手洗い、うがいの励行とともに、咳等の心配がある時にはマスクの着用など心がけていただくことが大事かと存じます。

高島地域人権学習会 1月17日小ホール 「大切なわたし、あなた、そして未来」【人権教育推進協議会 高島支部】主催 ～ヒューマン絵本との出会いを通して～

人権教育推進協議会高島支部では、このたび、人権学習会を開催しました。人権教育推進協議会高島支部副会長であり、社会教育委員の大杉千晶氏をファシリテーターに迎え、子ども8名(幼児1名、小学生5名、中学生2名)、地域の大人の方14名、計22名の皆さまにご参加いただきました。

絵本の読み聞かせを通してグループごとに自分の考えを伝え、意見を共有し合いました。自分の場合はどうかと考えたり、胸キュンとする場面を出し合ったりしながら話をすることで、私だけでなく相手の存在も大事にできる未来の部分についても考える機会となりました。



ファシリテーター大杉千晶氏

アイスブレイキング



ちょこっと話で自己紹介



「わたしはあかねこ」



ファシリテーターの読み聞かせのあと、「～あかねこ里帰り編～を考えてみよう」でグループシンキング。



「ワニくんのおおきなおし」



「おじいちゃんのごくらくごくらく」



「きつねのでんわボックス」

子どもや大人による読み聞かせ、大型絵本を使った読み聞かせを通して話し合い、自分が大事にされていること、相手を大事に思っていることに改めて気づくことができました。

○子どもたち(児童・生徒)

- ・自分のよさやよくないところなど、しっかりと考えられてよかった。来年も来たい。
- ・絵本で様々なテーマを学ぶことができた。家族の大切さも学べ、勉強になった。
- ・グループの人と話し合っ、思っていることが同じときもあれば、違う時もある、多くの考えを知ることができ、楽しかった。

○大人の方

- ・絵本を通しての人権学習、とてもよかった。絵本はいろんなことを教えてくれる。最後に大杉さんが述べられた「世界の平和」の一言、心に残る。人権学習は平和学習でもあること。本当にそう思う。
- ・今日のような学習会に参加したのは初めてだったが、大人ばかりでなく、子どもさんと一緒にグループの中でいろんな話が聞けてとても新鮮だった。「きつねのでんわボックス」も今回初めて知り、聞き入ってしまった。
- ・あたたかい気持ちになる5つの絵本を通して感じた気持ちを話し合うことができた。それぞれに思うこと、考えさせられることがあり、それをグループで共有できたことは有意義だった。人の思いが伝わる読み聞かせは、やはり情操を育む上で大事な取組であることを改めて実感した。
- ・どの絵本も心が温くなる本だった。子どもが意見をはっきり言われてすごいなと感じた。私も本を読んで感動する心を持ちたいと思った。
- ・久しぶりにほんわか温かさを感じるよい時間をもつことができた。バタバタしていらら家族にあたることも多い中、改めて互いのよさを思い返していた。ポジティブシンキングやリフレーミングということばを知り、見方をかえてとることで良い方向に向かうことがわかった。

参加者の感想から



書き初め展を参観される皆さま

2026 ガリバー書き初め展

1月25日(日)~2月1日(日)



この度、恒例のガリバー書き初め展を開催しました。高島公民館子ども書道教室から30点、高島学園から23点、出鴨書道教室から5点、樺美会から16点、優々書道会から6点、総数80点の作品が出品され、展示しました。力強い作品や文字のバランスがよく整った作品など、出品者の特徴がよく表れていました。本年も、児童・生徒さんの優れた作品には、金賞を授賞してもらいました。

子どもお菓子づくり教室

1月25日

【高島青少年育成学区民会議主催】

【家族やお友達にプレゼントするお菓子作りにチャレンジしてみませんか！】



講師の手ほどきでミニアップルパイづくり

この度、講師に管理栄養士の西川陽子氏を招いて、恒例の子どもお菓子作り教室が開催されました。本年度は表題のとおり身近な人にプレゼントするお菓子（ミニアップルパイ・チョコタルト）づくりに14名の小学生がチャレンジしました。

講師には、感染症対策に留意してもらうとともに、楽しみながらオリジナルのお菓子作りができるようにと準備段階から、何度も検討を重ね、ご尽力いただきました。

手作りしたお菓子は持ち帰りました。サポーターとして中学生（2名）も参加してくれました。中学生は子どもたちの身近な存在であり、一緒に活動してくれる姿は微笑ましく、調理室が和やかになりました。高島青少年育成学区民会議からは会長の中村さん、副会長の福原さん、委員の高島さん、山田さん、横田さんにお手伝いいただきました。講師の先生をはじめ皆さまに大変お世話になりました。



中学生ボランティアのサポート

高島公民館 2月の予定表

1	日	ガリバー書き初め展最終日
2	月	休館日（図書室休み）
3	火	（図書室休み）節分 子ども書道（硬筆）教室⑭
4	水	立春
5	木	（図書室休み）
6	金	
7	土	市内中学校吹奏楽部プラスコンサート （ガリバーホール）
8	日	
9	月	休館日（図書室休み）
10	火	（図書室休み） 子ども書道（毛筆）教室⑭
11	水	建国記念の日
12	木	休館日（図書室休み）
13	金	
14	土	高島スポーツ少年団スキー交流 （箱館山）
15	日	
16	月	休館日（図書室休み）
17	火	（図書室休み） 子ども書道（硬筆・毛筆）教室⑮
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	おはなし会10:30~11:00（和室）
22	日	
23	月	天皇誕生日（図書室休み）
24	火	休館日（図書室休み）
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	

【高島図書室から】



☎ 36-2160

寒さも厳しくなる2月。暖かい部屋でゆっくりと読書をしませんか。新しく入った本の中から、今月はこの2冊を紹介します。

『仕事とスマホで終わる日々が「習い事」で変わった話』

よざ ひかる／著 KADOKAWA

「習いごと」という言葉はよく耳にします。しかし年を重ねていくと、今更はじめのも何だか恥ずかしいし、才能もないし……と、なかなか一歩を踏み出せずにいませんか？

タイトルにあるように、私も仕事とスマホで終わる毎日を過ごしていますが、作者の方が「昔からやりたかったことを全部やってやる！」と全力で習い事を楽しんでいる姿を見ていると、「何かはじめてみようかな」という気持ちが湧いてきました。

毎日忙しく、継続的に通うのが難しい方は「一日だけの習いごと」というのもあるそうなので、自分に無理のない形ではじめられるコツなどもコミカルに教えてください。

いくつになっても、好きなことを楽しんでいいんだ！と背中を押してくれる一冊です。

『農家と八百屋が教える野菜まるごと！大量消費レシピ』

青髪のテツ／監修 宝島社

節約のためにまとめ買いをしたり、近所や実家からのおすそ分けにお野菜をいただいたりして、冷蔵庫がパンパンになる、なんて経験をしたことはありませんか？「使い切れない」「いつの間にか傷んでいた」など、いろんなお悩みも出てきますよね。そんなお悩みを、農家と八百屋のプロが解決してくれます！

こちらの本は、野菜大量消費のポイントや正しい保存方法、おいしい野菜の見分け方などが載っています。他にもバリエーション豊かなレシピが紹介されているので、同じ野菜を飽きずに楽しむことができます。

野菜を無駄なく使い切ることは、お財布にも、健康にも良いことです。野菜を正しく保存して、おいしくたくさん食べましょう♪

貸出中の資料はご予約できます。お気軽におたずねください。

